

## 細菌検査・寄生虫検査の検体採取方法について

### 1 細菌検査用の便採取法について

洋式トイレにトイレットペーパーを敷き、反対向きに座り便を排便します。  
採便容器（写真1）のキャップを回してはずし、キャップについている採便棒のスプーン部に便を取り（写真2）、ゆっくり元の容器に戻し、キャップをしっかり締めます（速く元の容器に戻すと培地があふれることがありますので注意してください）。

検査目的の細菌は便の採取後時間が経過すると死滅する場合があります。

正しい検査結果を得るために、できる限り検査当日の便を採取し提出してください。

また、同封のラベルに必要事項を記入のうえ、採便容器に貼ってください。

採便容器は、保健所に用意してありますので保健所に取りにお越してください。

採便容器は使用するまで封を開けず室温に保存してください。

詳しくは、採便容器の袋の「採便容器の取扱い」もご覧ください。



写真1



写真2

## 2 寄生虫検査の採取方法について

### (1) ぎょう虫卵検査

ぎょう虫は夜中に肛門よりはい出し肛門付近に卵を産み付けます。そこで、検査は朝起きた時すぐに、検査用セロファンを肛門に貼り付け(写真1)卵を取ります。これは、2日連続で行います。詳しくは、ぎょう虫検査セロファン(写真2)の袋「卵のとり方」をご覧ください。



写真1

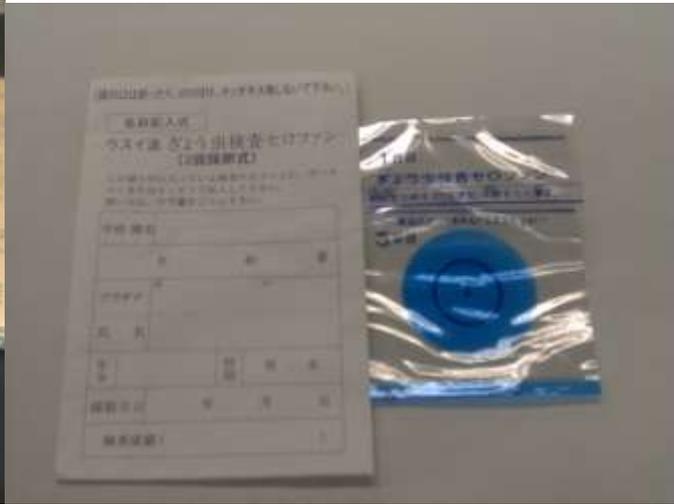


写真2

### (2) その他の寄生虫卵検査

洋式トイレにトイレットペーパーを敷き、反対向きに座り便を排便します。排便したものを、採便容器(写真1)のキャップについているスプーン部分に便を取り(写真2)、容器に戻ししっかりキャップを閉めます。



写真1



写真2